

令和3年11月30日



光が丘第二中学校 学校だより

TEL 3976-9202 FAX 5383-3608

<http://www.hikarigaoka2-j.nerima-ky.ed.jp>

「子どもが育つ魔法の言葉」より

校長 山田 美鈴

けなされて育つと、子どもは、人をけなすようになる
とげとげした家庭で育つと、子どもは、乱暴になる
不安な気持ちで育てると、子どもも不安になる
「かわいそうな子だ」と言って育てると、子どもは、みじめな気持ちになる
子どもを馬鹿にすると、引込みじあんな子になる
親が他人を羨んでばかりいると、子どもも人を羨むようになる
叱りつけてばかりいると、子どもは「自分は悪い子なんだ」と思ってしまう
励ましてあげれば、子どもは、自信を持つようになる
広い心で接すれば、キレる子にはならない
誉めてあげれば、子どもは、明るい子に育つ
愛してあげれば、子どもは、人を愛することを学ぶ
認めてあげれば、子どもは、自分が好きになる
見つめてあげれば、子どもは、頑張り屋になる
分かち合うことを教えれば、子どもは、思いやりを学ぶ
親が正直であれば、子どもは、正直であることの大切さを知る
子どもに公平であれば、子どもは、正義感のある子に育つ
やさしく、思いやりをもって育てれば、子どもは、やさしい子に育つ
守ってあげれば、子どもは、強い子に育つ
和気あいあいとした家庭で育てば、子どもは、この世の中はいいところだと思えるようになる



(『子どもが育つ魔法の言葉』ドロシー・ロー・ノルト、レイチャル・ハリス著

石井千春訳 PHP研究所)

私にはすでに成人して家庭を築いている2人の娘がいます。今や子育て奮闘中の長女と結婚したばかりの次女。祖母という立場になった私にとって、自分の子育て期間は、すでに遠い昔のように感じられます。2人の娘が何とか一人前の大人として生活してくれていることに、安堵の思いです。

今思えば仕事と育児の両立はたいへん厳しく、ストレスを抱える日々でした。実家の両親、夫、そして保育園の先生方を目の前に、涙を流すこともありました。

教育者といえども我が子の子育てに関しては素人です。子供によってそれぞれの個性や人格があり育児書通りにはいきません。日々時間との戦いでした。保育園に子供たちを預けてから職場に向かうときの私は、おそらく髪を振り乱し立ち漕ぎ同然の自転車通勤。周囲が我が身をどう見ているかなど気にする暇もありませんでした。そんな中でもたった一人になれるトイレで、用を足すわずかな時間に心を落ち着かせようと、壁に貼っておいた「子どもが育つ魔法の言葉」(ドロシー・ロー・ノルト、レイチャル・

ハリス著)の中に載っている詩を読み、子育ての日々を走り抜いていました。

先日、長女から突然電話がかかってきて「昔トイレに貼ってあった詩の載っている本、もらっていい？」とのこと。娘ながらに昔のことをずっと覚えていたようで、うれしくなりました。自分も子を持つ母親となってみて、思うところがあったようです。余計なコメントはせず、「どうぞ!」と言って渡しました。

子供が中学生ともなると、幼児のころとはまた違った悩みも生まれてきます。手をかけ時間をかけていた幼児期とは異なり、中学生なりの人格者として、親と意見が異なることも多くなっていきます。子供の成長を感じながら、感情的になるのではなく、同じ大人として意見を交わし合う度量が問われます。

いくつになっても我が子は我が子。子どもの年齢によって悩みの質は異なっていきますが、子育てに悩みつつ解決していくことによって、親として成長させてくれるのが子どもの存在です。

3年生は中学校卒業後の進路決定に向け、大切な時期を迎えています。保護者の皆様の不安もいかにかりかと察します。しかしながら人生の先輩として、いくつもの苦難を乗り越え培ってきた太い心の柱で、子どもの不安を和らげていける存在となっていたいただきたいと思います。一緒になって不安に押しつぶされてしまったり、逆に不安をより一層あおるようなことになってはいけません。

子育ての苦労を振り返り、親にとって一番大切なことは「どこまでもありのままの我が子を信じ抜くこと」だと確信しています。親自身の生きざまや他者と比べる必要はありません。今のままの我が子の良さに感謝しつつ、受験というプレッシャーをはね除け、親子共々乗り越えていってほしいと願っています。明るい未来に向かって、3年生がみな自分の進路に悠々と立ち向かえるよう祈念しています。

～光二中生の活躍～

第58回練馬区中学生ソフトテニス学年別大会

優勝 2年生 1年生 ペア (配布したものには名前を入れています)



～小中交流活動の様子～

①朝のあいさつ運動 (11/4、5)

②クリーン運動 (11/25)



＜本校中央委員会メンバーと春の風小6年生＞

＜本校1年生と春の風小5、6年生＞

コロナウイルス感染が落ち着いてきたので、隣接する光が丘春の風小学校との交流活動を進めています。児童生徒の主体的な活動により、小中9年間の連続した学びを構築し「目指す15歳の姿」の実現に向け、これからも取り組んでまいります。

～マナー教室を実施して～ (11/25)

例年この時期に3年生はマナー教室を実施しています。受験のみならず今後幾度となく面接試験という場面を経験します。「マナー教育サポート協会」の講師をお招きし面接など、対面でのマナーについて実践をもとに学ぶ機会をもちました。みな緊張しつつ、礼儀作法習得に向け一生懸命取り組んでいました。

